

- 一、救護所員ハ傷病者ニ對シ懇切丁寧ヲ旨トシ且救護ハ應急手當ニ止ムルコト
 - 二、救護所ノ標識ハ成ルヘク公衆ニ知リ易カラシムル様裝置スルコト
 - 三、救護所員ハ故ナク救護所ヲ離レサルコト
 - 四、救護シタル傷病者ノ取扱ハ左ノ各號ニ依ルコト
 1. 危篤ナル傷病者ハ最寄救護所ニ入ラシムルコト
 2. 輕症者ト雖成ルヘク通路ノ混雜セサルトキニ至リ歸家セシムルコト
 3. 傷病者ニシテ單獨歸宅シ得サルモノハ自宅ニ通知シ若シ引取人ノ來ラサルトキハ市役所ニ引渡ノ手續ヲナスモノトス
 4. 救護中死亡シタル者ハ前號ニ準シ取扱フコト
- (三)御大禮ニ關スル衛生上ノ各種統計

井水調査表

三重縣

所在地位	所有者姓名ハ	神宮司廳間ノ距離	井ノ種類	井ノ構造	井ノ状況
浦田町	神宮司廳	掘井戸	掘井戸(勝手場一隅ニアリ)	コンクリート側モルタル覆、徑約四尺覆蓋揚水ポンプ付(鎖輪ヲ欠ク)	強同上層リハ何レモセメントコクリー叩キ使用
中ノ切町	小宮司官舎	南隣	掘井戸	セメンコンクリート側覆蓋揚水ポンプ付屋內	リト叩キ約三間先便所アリ他深
外宮神社	外宮齋館	約五十町	掘井戸(水源)	掘井戸ニテ揚水ポンプニテ汲引シ南方約二町ヲ距ル齋宮ヘ配水	地下約百五十尺掘下ケタルモノナリト云フ
内宮神社	内宮齋館	約十五町	掘井戸	井戸側セメンコンクリート屋外覆蓋鎖輪付揚水ポンプ上齋宮ヘ配水	周囲神社樹木、不詳(地上ヨリ井戸底迄約十五間)
濱郷村	濱郷古館	約三十五町	掘井戸	井戸側コンクリートモルタル塗繩ツルベ汲取蓋付不完屋內	破損ノ爲修理ノ必要
四郷村	神宮皇學官	約三十三町	掘井戸	徑約四尺セメンコンクリート側揚水ポンプ付屋內	叩キ附近ハ樹木不潔物ヲ認メズ
浦田町	祭主官舎	掘井戸	掘井戸	井戸側石積四形井徑約四尺屋形付ツルベ井戸	深(便所約十間)

地面ト水面トノ距離	水	採取日	採取時	採取時ノ天候	採取時ノ時間	採取時ノ温度	採取時ノ湿度	採取時ノ風速	採取時ノ風向	採取時ノ備考	採取時ノその他
十尺	十一尺	十一月二日	午後〇時四〇分	晴	大	攝氏 十八度	同上	同上	同上	同上	同上
十尺	八尺	十一月二日	午前〇時五〇分	晴	大	攝氏 十八度	同上	同上	同上	同上	同上
十尺	十尺	十一月一日	午前十一時五分	晴	大	同上	同上	同上	同上	同上	同上
八間二尺	八尺	十一月一日	午後二時	晴	大	同上	同上	同上	同上	同上	同上
三間二尺	三間	十一月一日	午後二時三十分	晴	大	同上	同上	同上	同上	同上	同上
九尺	五尺	十一月二日	午前十一時十分	晴	大	同上	同上	同上	同上	同上	同上

病 原 菌 ナシ	非 病 原 菌 八〇	ナシ	ナシ	六五	ナシ	二六	ナシ	三五	ナシ	一三五	ナシ	八五	ナシ	一二〇
備考 一、本表中クロール、過マンガン酸カリウム消費量、固形物總量ノ数字ハ検水一リットル中ノミリグラム量ヲ示ス 一、細菌培養数ハ検水一立方センチメートル中ノ個数ヲ示ス														

右ノ外宮崎支庫外十ヶ所ノ調査アルモ省略
 行幸啓直接関係者健康診断成績

種 別	人員	健康		異常者		腹チフス菌有無検査	
		健康	異常者	異常者	検査人員	菌有無検査者	菌有無検査者
御料食品納入関係者	三二七						
献上品及傳獻品関係者	一六一						
御料品関係者	一二六						
行在所出入人夫	一五七						
行幸啓事務関係者	三九五						
皇族供奉員旅館関係者	三三七						
同食品納入者	二〇九						
借上自動車運転士	五四						
伺候者其他	二九二						
神宮司應員	三一九						
土産物関係者	八三						
計	二、四六〇	九	八			一、九九五	

海港防疫施設成績(自昭和三年七月一日
 至同年十二月一日)

倉庫	準沿岸	A級	B級	C級	計	防鼠設備	倉庫等級	倉庫等級	倉庫等級	倉庫等級	除鼠施設	
											殺鼠劑ニヨル	捕鼠器ニヨル
倉庫	準沿岸	A級	B級	C級	計	防鼠設備 完了倉庫	倉庫等級	倉庫等級	倉庫等級	倉庫等級	殺鼠劑ニヨル	捕鼠器ニヨル
		四三	一一六	六四	二二三							
		二八	一九	二	四九							
		三三〇	二二一	二二	五八三							
		三四	一八〇	三三	二二七							
		三八	八五九	六六二	一、五六〇							
		二九	二九	一	六〇							
		一四五	一四	一	一六							

御用牛乳ニ關スル事項

御用牛乳ハ別紙ノ通り候補牛參頭及豫備牛一頭ヲ撰定ス

乳牛検査成績表

検査月日	昭和三年十月五日	同	同	同	同	同	同	同	同
乳牛所有者	山田乳業者組合員	同	上	同	上	同	上	同	上

名	種	年	毛	産	體	分	容	性	乳	營	注	臨	牧	備
稱	類	令	色	地	格	娩	姿	質	量	養	射	床	場	考
三笠號	ホルスタイン雜種	七歳	白黒斑優美	北海道	尺	年月日	畸形損傷ナシ	柔順ニシテ惡癖ナシ	一斗一升	良	成續	診斷ノ状態	衛生状態	考
ル第二淺間號	同 上	七歳	同 上	自家生産	四尺五寸	昭和三年八月三日生	同 上	同 上	一斗二升	同 上	ツベルクリン	同 上	同 上	三回分娩
エコーポードクード	外國種	五歳	白黒斑	同 上	四尺六寸	昭和三年九月十五日生	同 上	同 上	同 上	可	ニベキ	同 上	同 上	同 上
白梅	ホルスタイン雜種	六歳	白黒	同 上	四尺四寸	昭和三年六月	同 上	同 上	一斗一升	良	ニベキ	同 上	同 上	同 上
						昭和三年八月	同 上	同 上	六升五合	良	ニベキ	同 上	同 上	同 上

牛乳検査成績表

乳牛ノ名稱	三笠號	ル第二淺間號	エコーポードクード	白梅
外 觀	白 色	同 上	同 上	同 上
臭 味	普 通	同 上	同 上	同 上
反 應	中 性	同 上	同 上	同 上
備 考	四十日後ノ見込 乳量約六升六合	約七升五合上	約六升八合上	約同 五升上
比 重	一〇二九二	一〇三三〇	一〇三三〇	一〇三三三
脂 肪	三・五〇	三・五〇	三・五〇	四・〇〇
乳 量	一斗一升	一斗二升	一斗一升	六升五合
備 考	死體検査施行検査人員成績 自八月廿一日 至十一月廿八日			

腸チフス病原體保有者検査

市 町 村	接客業者	既往患家々族
宇治山田市	一七四六	二四六
二見町	四〇六	三〇
神社町	二三四	二二
大湊町	四九	四
御薮村	一一	三一
四郷村	一〇八	三三〇
計	三六四	

濱郷村	一六九	五
豐濱村	一四一	九
小俣村	一四一	三
北濱村	二二七	六
合計	二、七六二	七〇六

腸チフス豫防注射施行成績 (宇治山田警察管内)

注射人員

宇治山田市	三、六三二
二見町	一、四九七
神社町	一、三五三
大湊町	九一一
御蔭村	二、〇七一
四郷村	一、八三三
濱郷村	二、九四五
豐濱村	三、八九九
小俣村	一、四〇九
北濱村	二、七九九
合計	二二、三四九

検病の戸口調査成績 (宇治山田市及附近町村)

調査延戸數

調査延人員

同上ニヨル發見患者

宇治山田市	二六、一九九	二二二、一七一	六
二見町	三、四六六	一七、八三四	
神社町	一、七三一	八、九一六	
大湊町	一、八二四	八、九九九	
御蔭村	一、二六一	六、二四二	
四郷村	一、五二六	八、七〇四	
濱郷村	二、六一八	一一、九六三	
豐濱村	二、二二九	一三、四〇五	
小俣村	五五七	五、三二八	
北濱村	三、八八五	一七、九八五	
其ノ他ノ町村	二五、六六九	一三四、四六九	
合計	七〇、九九五	三四七、〇一六	六

水質検査成績

検査總數

適數

瀆過適數

不適數

不適%

宇治山田市	七、二〇六	五、一七八	一一三	一、九〇五	二六、四三
度會郡二見町	七九八	三九六	一一	三九一	四八、九九
同 四郷村	六〇八	四八八	六四	五六	九、二一
同 濱郷村	六三三	二七四	七	三五二	五五、六〇
同 御蔭村	四九〇	一五二	三三二	六	一、三二
合計	九、七三五	六、四八八	五三七	二、七一〇	二七、八四

飲食物其他物品検査施行成績表 自昭和三年十一月

種別	検査總數	検査ノ結果良ト	同上不良ト認メタルモノ
牛乳營業取締規則ニヨルモノ	二五二	二二二	四〇
氷雪營業取締規則ニヨルモノ	四九	四九	—
清涼飲料水營業取締規則ニヨルモノ	六、一七七	五九二一	二五六
飲食物用具取締規則ニヨルモノ	二、三三九	二二五五	八四
人工甘味質取締規則ニヨルモノ	一、六七一	一六六九	二
飲食物防腐劑漂白劑取締規則ニヨルモノ	五、〇九二	五〇三七	五五
メチールアルコール(木精)取締規則ニヨルモノ	八	八	—
有害性着色料取締規則ニヨルモノ	一四	一四	—
其他	一、二七一	一一〇二	六九
飲料水	九、七三五	七〇二五	二七一〇
計	二六、五〇八	二三、三九二	三、一一六

其他縣令飲食物營業取締規則ニ由リ各種飲食物調製場ノ構造設備ニ就キ検査シタル成績左ノ如シ

検査總數 検査ノ結果良ト 同上不良ト認メタルモノ 縣令第二條違反 縣令第三條違反

八五三 五五 三三八 二二一 三〇七

尙各警察署(通牒ヲ發シ清涼飲料水、アイスクーキ(第一表)或ハ各種飲食物營業者ニ對シ(第二表)一齊取締ヲナサシム其成績左ノ如シ

種別	検査總數	適數	不適數
第一表	四六八、二七七	四四四、五四六	二三、七三一
第二表	九二〇	八八一	三九
計	四六九、一九七	四四五、四二七	二三、七七〇

清涼飲料水 四六八、二七七 四四四、五四六 二三、七三一

アイスクーキ 九二〇 八八一 三九

計 四六九、一九七 四四五、四二七 二三、七七〇

縣令飲食物營業取締規則項目 良 否

第一條 六、九八二 一、〇九九

第二條 八、八五八 一、一六〇

第三條 九、四三五 三六六

宇治山田市内 十一月十九日 十一月二十日 十一月二十一日 十一月二十二日

救護成績 三七 六五 一九 二〇 計 一四一

宇治山田市内救護成績 (一)縣及縣醫師會合同開設

救護所 十一月十九日(宇治山田市(府御ノ日)) 十一月二十日(外宮御親ノ日) 十一月二十一日(内宮御親ノ日) 十一月二十二日(宇治山田市發御ノ日)

第一 山田驛附近 一 一 一 一 計 一

第二 外宮前 一 六 一 一 八

第三 縣立南勢病院 一 一 一 一 二

第四 警察署附近 一 八 一 二 一〇

第五 徵古館 一〇 六 一 三 一九

第六 浦田停留場 二 四 四 一 一一

第七内 宮前
第八山田上口驛

計	一五	二五	一一	八	五九
計	一	一	六	一	七

宇治山田市内救護成績 (二)日本赤十字社三重支部開設

救護所

十一月十九日(宇治山田市府御ノ日)

十一月二十日(外宮御親詣ノ日)

十一月二十一日(内宮御親詣ノ日)

十一月二十二日(宇治山田市發御ノ日)

計

山田驛前
市役所前
前田停留場附近
徵古館東入口
楠部停留場
浦田町
離宮敷地

山田驛前	一	一	一	一	一
市役所前	三	一	一	二	一六
前田停留場附近	五	六	一	三	一四
徵古館東入口	五	二	一	一	八
楠部停留場	三	九	一	二	一四
浦田町	二	三	五	三	一三
離宮敷地	一	四	一	一	五
計	一九	三五	五	一一	七〇

宇治山田市内救護成績 (三)縣齒科醫師會開設

救護所

十一月十九日(宇治山田市府御ノ日)

十一月二十日(外宮御親詣ノ日)

十一月二十一日(内宮御親詣ノ日)

十一月二十二日(宇治山田市發御ノ日)

計

宮後町 山口齒科醫院
本町 前川齒科醫院
本町 西塚齒科醫院
吹上町 高森齒科醫院
館町 宇仁齒科醫院

宮後町	一	一	一	一	一
本町	一	一	一	一	一
本町	一	一	一	一	一
吹上町	一	一	一	一	一
館町	三	四	三	一	一一
計	三	四	三	一	一一

計 三 五 三 一 一二

汽軍沿道救護成績 縣及縣醫師會開設

十一月十九日(若御)

十一月二十日(發御)

計

十一月十九日(若御)

十一月二十日(發御)

計

柘植驛
加太驛
關驛
龜山驛
下之庄驛
一身田驛
津驛
阿漕驛

柘植驛	一	一	二	一	一
加太驛	一	一	一	一	一
關驛	一	一	一	一	一
龜山驛	一	一	一	一	一
下之庄驛	一	一	一	一	一
一身田驛	一	一	一	一	一
津驛	二	二	二	一	二
阿漕驛	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一

高茶屋驛
六軒驛
松阪驛
徳和驛
相可口驛
田丸驛
宮川驛

高茶屋驛	一	一	一	一	一
六軒驛	一	一	一	一	一
松阪驛	一	一	一	一	一
徳和驛	一	一	一	一	一
相可口驛	一	一	一	一	一
田丸驛	一	一	一	一	一
宮川驛	一	一	一	一	一
計	六	六	六	六	六

汽車沿道拜觀人

月 日

一般拜觀人

學生及各種團體

計

十一月十九日
同 二十一日

四一、七四三
三七、四五六
七九、一九九

二一三、三〇一
二二、〇〇二
四五、三〇三

六五、〇四四
五九、四五八
一一四、五〇二

宇治山田市内拜觀人

月 日

一般拜觀人

學生及各種團體

計

十一月十九日
同 二十日

一一四、二六七
一七九、八三九

二七、二七二
四五、一六一

一四一、五三九
二二五、〇〇〇

同 二十一日 五、五〇〇
 同 二十二日 七八、一四〇
 計 三七七、七四六 九〇、八九三 四六八、六三九

衛生施設調査成績 (宇治山田市)

宇治山田市	業 態			別	計	成 績		
	旅館	飲食店	料理店			旅館兼料理店	貸座敷	優
九九	一八二	九	二五	一四	三三九	三五	二二六	七八

備考 本調査ハ衛生技術員從事ス否ノモノニ對シテハ悉ク改善セシム
 接客業者視察成績 (宇治山田警察署管内)

市 町 村	視察戸數	市 町 村	視察戸數
宇治山田市	三四八	市 町 村	六
二見町	五一	豐濱村	一
神社町	二三〇	小俣村	一二
大湊町	六〇	北濱村	七
御蔭村	九	其ノ他ノ町村	七二
四郷村	九	合 計	七九五
市 町 村	九、四九六	市 町 村	九九八
清潔方法及塵芥箱修理成績 (宇治山田警察署管内)	施行戸數	座 席 修 理 箇 數	座 席 修 理 箇 數
宇治山田市	九、四九六	一二、〇五〇	七〇

神 社 町	豐 濱 村	大 湊 町	小 俣 村	御 蔭 村	北 濱 村	四 郷 村	其ノ他ノ町村	合 計
五〇五	二一五	四五四	八六九	五一五	八一五	七三四	六、八七七	一一、四二五
九二二	九〇	九二二	五〇二	九二二	二	九二二	二、六八七	一二、四二五

飲料井ニ對スル施設成績 (宇治山田警察署管内)

井側及周圍修繕井數 簡易消毒施行井數

市 町 村	井側及周圍修繕井數	簡易消毒施行井數
宇治山田市	一、一〇九	八〇〇
二見町	二二五	三七九
神社町	二〇三	三一七
大湊町	四二	四一九
御蔭村	一九	三三五
四郷村	六八	五九二
豐濱村	一一二	一、三九二
小俣村	六	一、三九二
北濱村	一九	一、三九二
其他町村	一、七二一	一、三九二
合 計	四、五四三	四、二二四

鼠族買収成績

宇治山田市 五、〇一七
 二見町 七五〇
 四日市市 一四、九九八
 津市 七、七三三
 鳥羽町 三九三
 計 二八、八九一

備考 四日市市ハ七月一日ヨリ其他ハ九月一日ヨリノ買収成績ナリ

「コレラ」豫防注射成績 (四日市警察管内)

業態別 注射人員
 沖仲仕 八一九
 船行商 一五〇
 船夫 二七四
 漁業 九五〇
 魚商人 一五二
 其他 八
 計 二、三三三

海港検査上「コレラ」菌検査成績

船数 検査人員 検便人員成績陰性
 一九 一、〇八九 一、〇四八

昭和三年中 自一月至十一月 宇治山田警察署管内諸調査表

- 一、狂犬病豫防注射頭數 一、二四八頭
- 二、炭疽豫防注射頭數牛八七一頭、馬三二五頭、計一、〇九六頭
- 三、畜犬整理頭數

畜犬頭數		新タニ届出テタルモノ		鑑札再下附ノモノ	
牝	牡	牝	牡	牝	牡
六二九	八六一	八〇	六九	三三	一八
計 一、四九〇		計 一四九		計 五一	

衛生講演會

開催場所	期日	聴講者數
四日市高等女學校	九月二十三日	約八百名
桑名町中橋座	九月二十四日	約千二百名
上野町廣榮座	九月二十九日	約八百名
津市市會議場	十月三日	約八百名
宇治山田市公會堂	十月十日	約千二百名
松阪町巴座	十月十一日	約一千名

以上ノ外九月三十日阿山郡柘植村ニテ活動寫眞會ニ附帶シテ開催ス

(8) 愛知縣

御大禮ニ際シ我カ愛知縣衛生課ニテハ内務次官ノ依命通牒ト内務省ニ於ケル衛生課長會議ノ決議事項トニ基キ且ツ又昭和二年

陸軍特別大演習ニ於テ實驗シタル事項ヲ參酌シ以テ施設實行スヘキ大綱ヲ定メ昭和三年四月ヨリ夫々實行ニ着手シ年内ノ衛生状態ハ比較的良好ニ經過セリ今其ノ顛末ヲ左ニ記サム

甲、行幸警關係衛生事項

第一、行在所御泊所御少憩所御昇降驛等ニ關スル件

一、名古屋市内全般ニ亙リ臨時清潔法ヲ施行スヘク六月十三日ヨリ着手十月末日終了セリ其ノ成績左ノ如シ	執行シタル戸數	事故ノ爲メ執行延期戸數	不充分行再執行戸數	消毒藥使用戸數
區別	執行シタル戸數	事故ノ爲メ執行延期戸數	不充分行再執行戸數	消毒藥使用戸數
東區	四一、五五八	三二	五四八	三一、八四三
西區	三三、八〇八	六五	六二八	二七、三三五
中區	六二、三七九	四一五	一、一三三	四六、四四一
南區	三九、三〇三	五四	一五六	一八、六一〇
計	一七七、〇四八	五六六	二、四六五	一二四、二二九

二、名古屋驛及御通過沿道三丁以内ニ對シテハ檢病の戸口調査ヲ九、十ノ二ヶ月ハ各二回以上十月二十八日ヨリ十一月七日迄及十一月十八日ヨリ二十七日迄ハ毎日之ヲ行ヒ其ノ結果ハ翌日迄ニ報告セシムルコト、セリ其ノ十一月月中ニ於ケル檢病戸口調査數ハ戸數五四、二二五、人口二三六、一四〇ナリ九月十月ノ分モ大差ナシ

而シテ御料品納付者附近ニ對シテハ十一月一日ヨリ毎日檢病の戸口調査ヲ爲シ宮内傳染病第一類第二類及傳染病患者並流行性腦炎患者發生シタルトキハ電話即報ト共ニ豫防措置ヲ爲スヘク所轄警察署ニ通達シ實行セリ其ノ調査戸數一八、〇七五人
口七八、七一三ナリ

三、御泊所消毒ニ就テハ宮内省ヨリ依託無之直接施行セラル

第二、御料水御料水御料乳肉其他御料食品ニ關スル件

一、御料水御料乳肉及其他御料食品ノ取扱者及其ノ同居人百三十七名ニ對シ悉ク健康診斷並ニ保菌検査ヲ實施セシニ肺炎カタ

ル一名「トラホーム」患者一名發見遠慮セシメタルノ外ハ全部健康ニシテ糞便検査ノ結果何レモ保菌者ヲ發見セス

二、御料水ニ就テハ細菌學的及化學的ノ検査ヲ施行シタルカ適當ナルヲ認ム

所 在 地	名古屋離宮内	同	同	同	同	同	同	同	同
井戸ノ位置	御膳水	調理場傍	湯沸場傍	工作場前	天守西	同	同	同	同
探酌年月日	昭和三年八月十六日 午前十一時十五分	同	同	同	同	同	同	同	同
天候	曇	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當日	晴	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當時氣溫	攝氏三十二度	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當時水溫	攝氏十七度五分	攝氏十八度	攝氏十七度	攝氏十八度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度
井戸周圍構造	完 全	完 全	井戸傍腐朽セリ	普 通	普 通	普 通	普 通	普 通	普 通
地面ヨリ水面マテノ距離	九米七	一一米七三	九米五五	七米五二	七米三	七米三	七米三	七米三	七米三
水深	二米〇	一米八八	一米三七	一米四二五	〇米九四	〇米九四	〇米九四	〇米九四	〇米九四
外觀	無色透明	同	同	同	同	同	同	同	同
固形物總量	一二四、〇〇〇	一七六、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一九二、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇
クロール	八、八六〇	一〇、六三〇	四、九六〇	八、一五〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇
硫酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
硝酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
亞硝酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
アンモニア	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
硬度	三、六六〇	三、三三〇	四、三三〇	七、六六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇
有機質酸化ニ要スル「ガメレオン」消費量	四、一〇〇	五、三七〇	三、一六〇	一、五八〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇
一立方センチメートル中細菌落數	四五	一四七	三九〇	一五七	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇

細菌ノ種類

二

二

五

二

二

四一〇

御膳水其他飲料水ニ就テハ離宮當局ト打合セノ上先ツ八月上旬及十月上旬ノ二回ニ亘リ浚渫ヲ行ヒ尙水質検査ヲモ併セ行ヒタリ

上水道ニ就テハ十月二日名古屋市長並ニ鍋屋勝川、犬山各警察署長ニ對シ配給並ニ水源地濾過池沈澱池貯水池開渠地等ノ監視警戒方ニ付通牒ヲ發シ之カ勵行セリ

尙豫備トシテ名古屋偕行社内水道水ノ化學的検査及細菌検査ヲモ施行セリ

検査成績書

御膳水

所在地 名古屋偕行社内水道水

採酌當時水溫 攝氏十九度

採酌年月日時 昭和三年十月十八日午前十時四十二分

採酌當時天候 前日晴 當日曇

採酌當時氣溫 攝氏二十四度

理學的検査ヲ遂クルニ左ノ如シ

無色透明ニシテ異臭味無ク反應弱アルカリ性ナリ

化學的検査ヲ遂クルニ左ノ如シ

固形物總量	一六五、〇	亞硝酸酸	同
クロール	二、八三六	アンモニア	同
硫酸	不檢出	有機質酸化ニ要スルカメレオン消費量	一、五八〇
硝酸	同	硬度	(獨逸法) 一、一三〇

三、御料水ハ名古屋市中區松重町日東製氷株式會社名古屋出張所ニ指定アリシヲ以テ技術員ヲ派遣シ原料精選及清潔狀態等ニ付検査セシムル等衛生上ニ關シ遺憾ナキヲ期セリ

四、御料牛乳ノ檢定ハ名古屋市及其ノ附近ノ牛乳搾取所へ技術員ヲ派遣シ検査セシメタルニ名古屋市東區千種町字一ノ神愛養社事清水太郎カ衛生的設備最モ完全ニシテ且ツ多數ノ優良乳牛ヲ繋留シ居リ既ニ回ヲ累ネテ御料牛乳ノ光榮ニ浴シタルモノナレハ其ノ旨行幸主務官ニ報告シ同人ヲ納入者ト撰定アリ然シテ小富士號ヲ御料乳牛ニ芙蓉號ヲ豫備乳牛ニ決定ノ旨十月二十九日通報アリ

五、御料肉ノ屠室ハ名古屋市ニ於テ同市屠場内ニ特設シタルヲ以テ之ニ充テ御料肉納入者ハ名古屋市東區富澤町階樂亭事梅澤富次郎ニ指定アリシヲ以テ同人ハ肥育セル優良ナル肉牛ヲ選定シ名古屋屠場御料屠室隣室ニ繋留シ行幸ノ際ハ十一月二日還幸ノ際ハ十一月二十一日何レモ午前六時獸醫及所轄江川署衛生主任巡查部長立會ノ下ニ屠殺ヲ了シ納入ス

六、御料水御料乳肉納入者周圍三丁以内ニ宮内傳染病患者發生シタル場合ハ電話即報シ尙本年一月以降發生セシ傳染病患者ヲ圖示報告セシメ防疫上ニ關シ特ニ留意セルカ御料牛乳納入者周圍ニテハ腸チフス、流行性耳下腺炎患者各一名、御料肉納入者周圍ニテハ腸チフス患者三名ヲ發見セリ

七、御料食品ノ生産地ニ於ケル衛生狀態殊ニ傳染病ノ關係ニ就テハ衛生技術員ヲ派遣嚴重調査ヲ爲シ遺憾無キヲ期セリ

八、蔬菜果實類ノ栽培無之

九、御料品ノ容器取扱ヒニ付テハ技術員ヲ派シ實地ニ就キ監督ヲ嚴ニシ萬遺憾無キヲ期セリ

第三、行在地御泊所御少憩所等ニ出入スル者ニ關スル件

一、拜謁者ニ對シテハ心得書ヲ印刷之レヲ交付シテ心得事項ヲ遵守セシメタリ

二、離宮諸員五十九名及出入スル大工左官等ノ労働者四百三十九名ヲ始メ縣廳ノ大禮事務委員百八十二名及供奉員自動車運轉手百九十二名ニ至ル迄全部健康診斷及保菌検査ヲ行ヒタルカ悉ク健康ナリ

第四、飲食料品以外ノ御料品御用品並獻上品天覽品ニ關スル件

御料品御用品並獻上品天覽品上納者ニ對シテハ健康診斷並ニ糞便検査ヲ行ヒタルニ何レモ健康ナルコトヲ認メタリ尙左記心得書ヲ各戸ニ配布シテ遵守セシメ相待テ衛生上遺憾無カラシメタリ

御用飲食物調製上納者心得

- 一、御用品調製又ハ製造ニ従事スル者ハ勿論其ノ家族同居者ハ豫メ縣衛生課ノ健康診断並ニ菌保有ノ有無ニ就キ検査(糞便検査)ヲ受ケ従業員ハ常ニ健康證明書ヲ携帯スルコト
- 二、御用品調製所又ハ製造所ハ豫メ消毒の清潔方法ヲ行ヒ常ニ塵埃ノ飛散防止ニ努ムルコト
- 三、御用品調製所又ハ製造所ハ之ヲ他ノ場所ト區別シ調製又ハ製造以外ノ者ヲシテ出入セシメサル様注意スルコト
- 四、御用品調製又ハ製造ニ従事スル者ハ身體被服ノ清潔保持ニ留意シ調製又ハ製造ニ際シテハ清潔ナル白衣白帽ヲ着用シ並ニ「マスク」ヲ掛ケ且ツ従業員前手指ヲ石鹼及温湯ヲ以テ清洗シタル後更ニ「アルコール」ヲ以テ拭淨スルコト
- 五、調製又ハ製造ニ要スル器具器械容器其ノ他ノ使用器具類ハ縣衛生課ノ検査ヲ受ケ煮沸又ハ蒸氣消毒其他適當ナル消毒ヲ行フコト
- 六、上納函及籠ノ類ハ新鮮ニシテ適當ノ消毒ヲ行ヒタルモノヲ使用スルコト
- 七、調製所又ハ製造所ニハ蠅其ノ他昆虫類ノ侵入ヲ防クニ足ルヘキ適當ノ設備ヲナスコト
- 八、調製又ハ製造原料並ニ包装用品ハ豫メ縣衛生課ノ検査ヲ受クルコト
- 九、調製又ハ製造用水ハ總テ煮沸シアルモノヲ使用スルコト
- 十、御用清酒又ハ御用製氷ハ豫メ縣衛生課ノ検査ヲ受ケタル後之ヲ嚴封シ置キ詰換ヘ又ハ切出ノ際ハ縣衛生課技術員立會ノ下ニ之レヲ爲スコト
- 十一、御用ニ充ツル埴及栓ノ類ハ能ク清洗シタル後之レヲ三十分以上煮沸スルコト
- 十二、御用清酒ノ詰換ハ縣衛生課ノ適當ト認メタル方法ヲ以テ之ヲ爲スコト

愛知縣警察部衛生課

第五、皇族御旅館及供養諸員旅館ニ關スル件

皇族並供養員ノ御旅館ニ對シテハ家族同居人及出入者ニ對シテ全部健康診断並ニ保菌検査ヲ行ヒタルニ何レモ健康ナリ一方飲食

物調理場ニ對シテハ技術員ヲ派遣シ實地調ニセ査シメ左記心得書ヲ各戸ニ配布シ衛生上遺憾無カラシメタリ

皇族、貴賓、供奉員ノ御旅館並ニ飲食物調進所ノ衛生及其ノ心得

- 一、邸宅ノ内外ハ常ニ掃除ヲ怠ラス清潔ニナシ置クコト
- 二、室内ハ時々掃除シ且戸隙子ヲ開放シ換氣ヲ計ルコト
- 三、柱敷居鴨居及襖障子ノ引手等ハ清拭シ置クコト
- 四、寢具類敷物等ハ御投宿前日光ニ曝シ清潔ニ爲シ置クコト
- 五、寢具其ノ他飲食物器具等ハ本年五月以降傳染病ノ發生シタル家又ハ肺結核癩等ノ傳染性疾患アル家ヨリ借り入レサル様注意スルコト

六、寢具ハ清潔ナル白布ヲ以テ被包シタルモノヲ用ヒ襟掛枕掛等モ清淨ノ白布ヲ以テシ毎日清淨ノモノト取換フルコト

七、傳染性疾患アル者ハ勿論一切ノ病者ヲシテ飲食物ノ調理又ハ給仕等ヲ爲サシメサルコト

八、庖厨ノ作業ニ従事スル者及給仕人ハ之ヲ一定シ置クコト

九、料理人ハ清潔ナル衣類ヲ着用セシメ作業ノ際ハ白キ胸掛ヲ用ヒシムルコト

一〇、食事ノ給仕ヲ爲ス者ハ必ス供膳前石鹼及湯ヲ用ヒテ手ヲ洗滌シ且含嗽スルコト

一一、凡テ飲食物及飲食物用器具ニハ適當ナル覆蓋ヲ爲シ塵埃昆虫類ノ附着ヲ防クコト

一二、飲食物ノ調理場ハ採光換氣ヲ充分ナラシメ常ニ清潔ヲ保持シ且蠅其ノ他昆虫ヲ驅除スルコト

一三、宿舍外ノ調理場等ヨリ飲食物ヲ運搬スル場合ハ清潔ナル運搬器ヲ用ヒ覆蓋ヲ完全ニシ更ニ白布ヲ覆ヒ塵埃昆虫類等ノ附

着セサル様注意スルコト

一四、飲食物ノ調理ニヨリ生スル廢物ハ凡テ覆蓋アル一定ノ容器ニ收集シ一日一回以上他ニ搬出シ停滯セシメサルコト

一五、銅背銅製ノ器具ハ使用前充分ニ磨キ固有ノ光澤ヲ有セシメ且該器具ニシテ調理シタル飲食物ハ直ニ瀬戸物其ノ他ノ器物

ニ移スコト

- 一六、飲食物ノ調理器ニシテ珉瑯ノ剝離シタルモノ又ハ銅青銅等ノ器具ニシテ錆化シタルモノハ使用スヘカラサルコト
- 一七、飲食物用器具其ノ他口ニ觸ルヘキモノヲ(小揚子類)用ニ供セントスル場合ハ淨水ニテ洗滌シ且熱湯ヲ灌クコト
- 一八、飲料水ハ勿論洗滌水(盃洗ノ水等)モ一旦煮沸放冷シタルモノヲ用フルコト
- 一九、飲食物ハ新鮮ナルモノヲ選ヒ腐敗シ易キモノ及前日調理シタルモノ若ハ不熟ノ果物潤濁セル「ビール」「サイダー」等ハ一切調進セサルコト

- 二〇、風呂場浴槽水槽等ハ使用前清潔ニ掃除シ且熱曹達液ニテ擦拭シ其ノ後ハ使用毎ニ淨水ニテ洗滌スルコト
- 二一、風呂場洗面場ニハ清潔ナル容器ニ新鮮ナル多量ノ清水ヲ備フルコト但シ洗面及ヒ口嗽用ノ水ニハ煮沸水ヲ用フルコト
- 二二、室内廊下等ニテ目觸リトナラサル適當ノ場所ニ清潔ナル唾壺ヲ備ヘ毎日掃除ヲナスコト
- 二三、厠間ハ專用トシテ充分清潔ニシ御投宿前之ヲ汲ミ取り同時ニ石灰ノ類ヲ撒布シ鋸屑、粗穀等ヲ投入シテ乾燥セシメ置キ毎日一回以上掃除シ尿尿ハ充溢セサル様夜間汲ミ取り搬出スルコト
- 二四、便所ニハ「クロー」石灰ヲ以テ消毒シタル上淨水ヲ堪ヘタル流水装置ノ手洗器ヲ設置スルコト
- 二五、下水其ノ他汚物溜ハ停滯又ハ充溢セシメサル様清潔ニ掃除スルコト
- 二六、炊事場、浴場等火氣ヲ取扱フ場所ハ時々煙筒其ノ他ヲ掃除シ時々見廻リ火災ノ豫防ニ注意スルコト
- 二七、消火器ヲ設備スルコト但シ從來ヨリ備附アルモノハ豫メ使用試験ヲ行ヒ且家人ヲシテ其ノ扱方ヲ會得セシメ置クコト
- 二八、非常用水ヲ備ヘ置クコト
- 二九、常用燈火ノ外成ルヘク豫備燈ヲ備ヘ萬一ノ故障ニ差支ナカラシムルコト
- 洋燈ヲ用ヒサルヘカラサル場合ハ其ノ油壺ハ金屬製ヲ用フル事
- 三〇、戸締ヲ完全ニナシ火災及盜難ヲ警戒スルコト
- 三一、客室ニハ貴重品ノ保管ニ適スル装置ヲナスコト
- 三二、非常口ハ豫メ調査シ置キ萬一ノ場合支障ナキ様爲シ置クコト

昭和三年

愛知縣

皇族御旅館及供奉員諸員旅舎關係健康成績表

種別	健康人員	病		糞便検査數	保菌者數
		脚氣	計		
皇族御旅館及其他 供奉員旅舎	一五九	一	一	一九二	

第六、行幸啓地方ニ於ケル傳染病發生狀況通報ノ件

一、衛生局長通牒ニ基キ四月一日ヨリ十月十三日迄傳染病患者ノ發生報告ハ週報ナリシモ十月十四日ヨリ日報トシ隣縣ヘモ互報セリ

二、行幸啓ニ關係アル郡市ノ傳染病流行性感冒麻疹流行性耳下腺炎流行性腦炎發生狀況ハ八月一日ヨリ警察署長ヲシテ日報セシメ之レヲ週報トシ十月十五日ヨリハ電話報告セシメ宮内省内務省大禮主務官京都府廳内内務省出張所ヘ送附セリ

乙、一般衛生事項

第一、飲料水ニ關スル件

- 一、水道布設地タル名古屋市ニ對シテハ水道水ノ使用ヲ獎勵シ特ニ衛生上取締ヲ要スル各種營業者ニ對シテハ之カ使用ヲ實行スヘキ様通牒シ實施セリ
- 二、水道水ノ配給水源貯水地濾過地沈澱地開渠地ノ清淨保護警戒ニ就テハ十月三日名古屋市及其ノ關係地所轄鍋屋勝川犬山ノ各警察署ヘ通牒シ嚴重監視警戒ヲ勵行セリ
- 三、飲料水ノ検査ハ技術員ヲ派遣シ郡部及名古屋市内ニ於テ検査ヲ爲シタルニ左表ノ通りニシテ其ノ成績良好ナラサルヲ以テ改善方法別冊ヲ添ヘ名古屋市並ニ關係警察署長ヘ通達シ協力以テ實績ヲ擧クルニ努メタリ尙此種不良井水ニ對シテハ「クロー」消毒ヲ勵行シ開放井戸ニ對シテハ可成ポンプ若クハ覆蓋装置ヲ爲サシムル様夫レノ通牒セリ

飲料井水検査成績(名古屋市ノ一部)

施行地	検査總數	適當ナルモノ	濾過ヲ要スルモノ	煮沸ヲ要スルモノ	不適當ノモノ
岩塚町桑原町方面	一、一八七	二九五	六三	三三四	四九五
野立町方面	一九八三	二九三	三五	四三一	一、二三四
荒子町方面	九八五	一一二	三八	一二九	七〇六
小碓町方面	五四七	三四	三三	五一	四二九
合計	四、七〇二	七三四	一六九	九四五	二、八五四

飲料井水検査成績(郡部ノ一部)

施行地	検査總數	適當ナルモノ	濾過ヲ要スルモノ	煮沸ヲ要スルモノ	不適當ナルモノ
丹羽郡犬山町	一、三二二	三四二	六	七三六	二二七
愛知郡下ノ一色町	九一〇	二二三	五	八八	七九四
西春日井郡庄内町	五七二	二七三	二三七	一三	四九
西枇杷島町	七六七	五三六	四三	六三	一二五
川中村	一一八	八一	七	一九	一一
荻野村	二四八	一九八	一一	二七	一一
合計	三、九二七	一、四五四	三〇九	九四六	一、二一八

第二 清潔保持ニ關スル件

一、街路又ハ之ニ沿ヒタル河川溝渠及ヒ下水溝ニ對シテハ掃除監督ヲ勵行シ以テ清潔保持スヘキ様名古屋市當局ト協商之カ勵行ニ努メタリ

第三 塵芥處分ニ關スル件

一、名古屋市内各戸ニ完全ナル塵芥容器附ヲ勵行シ破損セルモノ又ハ覆蓋ナキモノハ改善修理セシメ塵芥ノ搬出回数ヲ増加シ塵芥ノ蓄積散出ヲ防キ塵芥取扱場及焼却場ノ設備ヲ完全ナラシメ掃除監督ヲ勵行シ以テ塵芥ノ處分ニ遺憾ナカラシムルヘク督勵セリ

第四 屎尿處分ニ關スル件

一、共同便所ニシテ位置又ハ設備不適當ナルモノハ改造又ハ修理シ且ツ鹵簿御沿道拜觀者ノ爲メニ假設便所ヲ設クル様市當局ニ協商セシ結果假設便所ヲ設置シ尙御沿道住家四百二十戸ニ對シ便所ノ使用承認ヲ得全部開放セリ

二、共同便所ノ消毒ヲ施行シ内外ノ清潔保持ニ努メ特ニ汲取りヲ怠ラサル様當局ニ通牒シ之レカ勵行ニ努メタリ水槽便所ニ對シテハ特ニ嚴重ナル検査監督ヲ加ヘ其ノ設備不完全ナルモノニ對シテハ適當ナル改善ヲ行ヒ各戸便所ハ汲取りヲ勵行セシム

第五、飲食物取締ニ關スル件

一、屠場内外ノ清潔殊ニ汚物ノ處置等ノ監督ヲ嚴ニシ屠夫其他ニ對シ規定ノ被服ヲ着用セシメ其ノ清潔ニ注意シ泥土其他不潔物ノ附着セル靴ヲ穿タシメサル様又運搬器具ノ清潔ニ對シテモ一段ノ取締ヲ爲ス様縣下各署ヘ通牒取締セリ

二、牛山羊乳搾取所及販賣店ニ對シテ搾取室取扱室其ノ他營業場ハ常時汚物掃除ニ努メ清潔保持セシメ従業員ノ健康状態ニ注意シ傳染病疾患ノ疑ヒアル場合ニハ特ニ技術員ノ派遣ヲ申請セシメ尙防蠅設備ヲ爲シ蠅ノ驅除ニ努メ諸容器ノ清潔保持セシメ不潔物ノ竄入防止スル様各警察署並ニ技術員協力取締ヲ爲セリ

尙牛乳ノ検査ヲ勵行シ以テ乳質ノ改善ニ努メタリ

三、飲食物製造所販賣店ノ従業者ニ對シテハ特ニ被服及手指ノ清潔ニ留意シ飲食物ニ對シテハ其ノ原料ヲ精選セシムルハ勿論

- 刺身館等ノ如キ其ノ儘食スヘキモノニ對シテハ防塵防蠅ノ方法ヲ講セシメ器具ハ一客毎ニ洗滌ノ上清潔ナラシメ設備ヲ完全ニシ飲用水飲食物ノ浸漬水飲食用器具洗滌水ハ善良ナルモノヲ用フヘキ様警察署並ニ技術官ト協力取締ヲ勵行セリ
- 四、公設市場ニ於ケル衛生施設ニ就テハ特ニ七月二十六日野菜洗場ノ清潔用水ノ清淨生魚熟煮飲食物等ノ覆蓋並ニ給水設備ヲ完全ニシ以テ食品市場取締法令ノ遵守方名古屋市當局ニ督勵スルト共ニ警察官吏並ニ衛生官吏ヲシテ取締ヲ勵行ヲ期セリ一面私設市場ニ對シテハ前記同様取締方關係各警察署ヲ督勵シ實效ヲ期セリ
- 五、名古屋市内並ニ之ニ隣接セル勝川西枇杷島ノ各警察署管内ニ於ケル特種飲食物業者及家族従業員ニ對シ糞便検査ヲ勵行シタルニ何レモ保菌者ヲ發見セス其ノ成績左表ノ通り

特殊營業者保菌検査成績表

牛乳營業検査數	有菌者	清冷飲料水營業検査數	有菌者	氷雪營業者検査數	有菌者
一、〇五二	ナシ	三六七	ナシ	一三九	ナシ

六、飲食物及飲食物用器具ニ關シテハ技術員ヲ派遣シ取締ヲ勵行シタル結果其ノ成績左表ノ通り

飲食物検査成績

昭和三年九月末日

種別	検査件數	同上有害件數	有 害 件 數				取 締 規 則 別
			氷雪營業取締規則	清冷飲料水營業取締規則	飲食物用甘味質取締規則	飲食物用防腐漂白劑取締規則	
天然氷	一五	三					
人造氷	四一						
ラムネ類	二二六	四					
サイダー類	一六六	四					

種別	検査件數	同上有害件數	有 害 件 數				取 締 規 則 別
			氷雪營業取締規則	清冷飲料水營業取締規則	飲食物用甘味質取締規則	飲食物用防腐漂白劑取締規則	
リモナーデ	三〇〇	一					
果實汁	一一						
果實蜜及類似品	一七四	二					
陶磁器類	八一	五					
珪瑯鐵器類	三五						
鍍錫器具類	五						
其ノ他飲食物用器具	四						
菓子類	一、〇五三	二			二		
蒲鉾類	九〇	七			七		
漬物罐詰瓶詰類	二五六	二			二		
醬油	一、三二八	九					
清酒	一、一五三	八					
葡萄酒	三二						
葡萄酒	四五〇						
其ノ他酒精含有飲料	六四七	一			三		
其ノ他飲食物	三、〇〇二	三					
玩具類	七六	四					
其他	四						
合計	九、一四九	一〇四	三	二	六三	一八	

※廢棄 ○ 衛生上危害ナキ方法

× 物品ナキトキ

飲食物製造所取扱所検査成績

營業種別	検査件數	調理場		飲食物用器具類		覆蓋	便所并戸 其ノ他ノ 關係	摘要
		不潔	清潔ノモノ	鍍錫剝離ノ モノ	珪藻剝離ノ モノ			
公設市場	一三							
一般飲食店	九五	三	六			五	五	
清涼飲料水製造場	六二	九						
計	一七〇					七	七	一五七四四
								注意セリ

第六、旅館料理店飲食店貸座數等ニ關スル件

一、旅店料理店其ノ他一般飲食店ニ對シテハ十月中二回縣下一齊取締ヲ勵行シ尙名古屋市内及勝川西枇杷島管内業者ニ對シテハ衛生心得書ヲ印刷シ各戸ニ配布實行ヲ促シ以テ衛生上遺漏無キヲ期セリ

宿屋料理店其ノ他一齊取締結果(昭和三年十月中二回施行)

業別	取締數	取		締		果		處分結果	
		調理場不潔	飲食用器具金 屬固有光澤ナ キモノ	同上鍍錫剝 落セルモノ	同上珪藻剝 落セルモノ	飲食物又ハ調 理原料變取 ノ覆蓋ナキモノ	注 意	處 罰	計
宿屋	四、三八七	四七五	一三六	六〇	六七	一四三	九二二		
料理店	六、三九一	六九〇	二八一	一七〇	二二四	二八二	一、五六八		
其他	六、八二七	七二一	二九三	一一五	一二〇	一八	二、一〇四		
計	一七、六〇五	一、七八六	六五六	三四五	三一一	四一	一、二三三		
							四、五九四		四、五九四

第七、其ノ他衛生上取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

一、劇場活動寫眞館寄席諸興行場ニ對シテハ場内ノ清潔及換氣ヲ圖リ疊及板ノ間ハ克ク拂拭シ座蒲團敷物類ハ時々日光消毒ヲ

爲シ仲買人ニハ被服手指ノ清潔ニ注意セシメ且ツ飲食物ハ防塵防蠅ノ法ヲ講セシメ唾壺ノ配置ヲ周到ニシ便所ノ清潔ヲ保持シ尿管ノ充溢セサル様取締ノ徹底ヲ期セリ

諸興業場監査成績表

月別	取締數	違反數	同上處分別	
			說 諭 處 罰	計
八月 中	一五一	一五	一三	一五
九月 中	一五四	一四	一四	一四
十月 中	一五二	一六	一六	一六
十一月 中	一五〇	七	七	七
計	六〇七	五二	五〇	五二

二、理髮店舖器具ノ清潔ニ留意シ消毒方法ノ徹底ヲ期スヘク取締ヲ勵行セリ其ノ成績左ノ如シ

理髮營業監査成績表

月別	取締數	違反數	同上處分別	
			說 諭 處 罰	計
八月 中	五、四五二	二六三	二五八	五
九月 中	五、七七六	三二七	三二七	
十月 中	五、九四七	三五六	三五四	二
十一月 中	六、〇七五	二九二	二九〇	二
計	二二、二五〇	一、二三八	一、二二九	九
				一、二三八

三、浴場並衣類箱ノ清潔保持ニ注意シ毎日浴場ノ更新ヲ行ヒ浴槽洗場小桶ノ掃除ヲ周密ニシ唾壺ノ配置ヲ適當ニ爲サシムル等取締セリ

湯屋營業監査成績表

月別	取締數	違反數	同上處分		計
			罰	計	
八月 中	一、一四四	一一四	一	一一四	
九月 中	一、一七四	一三七	二	一三七	
十月 中	八五七	一三八	一	一三八	
十一月 中	七六五	六五	一	六四	
計	三、九四〇	四五四	三	四五二	四五四

四、營業用寢具ノ類ハ清潔ニ保持スル様取締ヲ勵行セリ
 五、多數人ヲ使備スル各種工場會社等ニ對シテハ内外ノ掃除ヲ勵行シ清潔ヲ維持シ場内ニハ安全ナル飲料水ヲ供給シ飲食物用器具ヲ清潔ニシ共用手拭ヲ廢シ便所ノ消毒ヲ行ヒ寄宿舎ノ換氣採光ヲ計リ寢具敷物ノ日光消毒ヲ勵行シ舎内適當ノ位置ニ唾壺ヲ配置シ防蠅ニ努メ職工其他使備人ノ健康狀態ニ注意勵行セリ

第八 花柳病豫防ニ關スル件

一、縣下各都市ノ適當ナル地域ヲ限リ保健組合ヲ組織セシメ診療所ノ設立ヲ促シ一面技術員ヲ派遣シ警察當局ト連絡シ接客業主ヲ會同セシメ講演會ヲ開催シ花柳病ニ對スル衛生思想ノ喚起ヲ計ルト共ニ客用豫防藥器具ヲ備付セシメ洗滌設備ヲ完全ナラシメ花柳病傳播ノ虞アル接客業婦ニ對シテハ花柳病診療施設ノ充實及豫防智識ノ啓發ニ努メタリ

花柳病豫防講演會開催狀況調

聽講人員 一四、四三〇人 藝妓、酌婦、料理屋藝妓置屋、女給、組合員及娼妓

昭和二年密賣淫人員健康診斷結果取調表

藝妓	酌婦	其他	計
檢診人員 七〇	檢診人員 五三	檢診人員 八〇	檢診人員 二〇三
患者 二〇	患者 一四	患者 三五	患者 六九

花柳病診療患者表

年 別	男	女	計	同上ノ内死亡	
				男	女
大正十三年			八、六九九		五一
同十四年			一五、四六八		二一
同十五年	九、九四六	二、七〇五	一二、六五一	二一	三七
昭和十六年	七、八四九	一、四六一	九、三二〇	三	三
昭和十七年	四、七六四	七七六	五、五四〇	二	三
至白八月					

備考 本表ハ縣令醫師法施行細則ニ依リ醫師ヨリ届出タル患者數ヲ計上シタルモノナリ

大正十四年以前ニ在リテハ同細則ニ於テ男女別ニ届出スヘキ規定ナカリシヲ以テ性別數不明ナリ

第九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

一、結核豫防法令トラホーム豫防法令ノ規定スル處ニ從ヒ接客業者ノ健康診斷及トラホーム檢診ヲ行ヒ尙興行場貸、座敷、料

理店、旅館、飲食店等ニハ適當ノ睡蓋ノ配置勵行、多衆集會場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ノ共用手拭撤去、洗面手洗
装置等清潔保持ニ付嚴重取締ヲ勵行セリ

結核檢診成績表 (昭和三年)

健康診斷ヲ受ケタル人員	患者ト決定セシ人員	受診者ニ對スル患者比	從業禁止ヲ監督人員	從業禁止ヲ命セシ人員	備考
六〇、三八三	一六	〇、二六	一六		

トラホーム檢診成績表 (昭和三年)

種別	性別	檢診人員	患者		疑似患者		計	不參人員	檢診者ニ對スル患者百分比
			重症	輕症	疑似	計			
壯丁	男	一八、五〇五	二二二	一、九八七	七五九	二、九四八	六三八	一五、九三	
	女	一八、〇〇五	一三〇	一、二四八	五二九	一、九〇七	二二一		
接客業	男	三五、二二〇	一七六	一、九二七	九八一	三、〇七一	三二一		
	女	四一、〇三二	九五	一、八五七	六五一	二、六〇三	一、〇六五		
工場	男	六一、七九三	三二〇	三、七五八	一、二二〇	五、二九八	一、〇四四	七、六八	
	女	九、一七〇	八	三三〇	一三八	四七六	二八七		
學校	男	八六、七一四	四四五	五、四二二	二、〇七七	七、九四四	二、二一一	五、六五	
	女	九、一一〇	二五	三七八	一五六	五五九	一三六		
合計	男	一〇六、一三三	五二一	六、〇六三	二、三三七	八、九一八	一、五〇一	八、七四	
	女	一〇六、一三三	五二一	六、〇六三	二、三三七	八、九一八	一、五〇一	八、七四	

第十 癩預防ニ關スル件

癩預防ニ就テハ相當留意シ發見患者ニ對シテハ成ルヘク療養所或ハ適當ノ場所ニ隔離シ尙浮浪徘徊ノ患者ニ對シテハ取締方
ヲ特ニ通達シ群集中へ出入セサルヤ取締レリ尙昭和三年中第一區府縣立全生病院へ送致セシ患者ハ男十一名女四名ニシテ
同年末現在收容人員ハ男六十五名女十六名ナリ

第十一 精神病者ニ關スル件

監置精神病者ニ對シテハ警察署ヲシテ月二回乃至三回以上視察ヲ爲サシメ一面衛生課員ヲ派遣實地視察ヲ勵行未治輕快等ニヨ
リ監置廢止ノ場合ハ主治醫ト連絡シ當廳主任醫師ノ立會診斷ヲ行ヒ以テ取締ノ目的ヲ達スヘク勵行セリ

監置精神病者視察取締成績表

月別	總數	視察		給養其ノ他 待遇ノ適否	室内臥具其他依 食物衛生上適否	病者ノ容體	監置室ニ異狀有無	其ノ他
		適	否					
七月中	一九七	適	否	一九七	一九六	一八八	一九七	
八月中	二四九	適	否	二四八	二四八	二四七	二四九	
		適	否	一	一	二		
九月中	二五二	適	否	二五二	二五二	二五二	二五二	
		適	否					

第十二 防疫ニ關スル件

一、名古屋市及御大禮還幸啓鐵道沿線並ニ前年流行セシ地域貧民部落木賃宿其ノ他必要ト認ムル場所ヲ始メ全縣下ニ亘リ檢病
的戸口調査ヲ勵行セリ

一齊検病の戸口調査成績表

月別	戸数	人口	赤痢	腸チフス	見	患者	別	
							計	別
九月	三九六、七四一	一、九九九、七〇一	一	二二	四	一八	四七	九月
十月	四三六、一五四	二、〇五九、一七五	四	一一	一	四	二〇	十月
合計	八三二、八九五	四、〇五八、八七六	五	三三	五	二二	六七	合計

傳染病患者現在表 (十月二十日)

市郡別	赤痢		腸チフス		バラチフス		デフテリア		猩紅熱		流行性腸炎		痘瘡		計	
	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計
丹羽郡	一六	四八	一〇	三五	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九〇
西春日井郡	二	五二	四	一八	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二六
東春日井郡	一	二〇	一	六一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇一
愛知郡	六	一七三	五	一五	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四二
一宮市	一	一一	二	二五	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三三
岡崎市	一	一一九	一	八七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一九
豊橋市	一四	五五八	四	二〇二	二	一五	二	五	一	一	一	一	一	一	一	三三三
名古屋市	一九七	四七〇	二一三	五五七	八	二五	八	五八	一三	五二	一	九	一	一	一	八一三
計	二一六	四八四	二一〇	三五五	二二	一〇二	二二	一〇二	二二	一〇二	二二	一〇二	二二	一〇二	二二	九〇

市郡別	赤痢		腸チフス		バラチフス		デフテリア		猩紅熱		流行性腸炎		痘瘡		計	
	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計
栗原郡	一	一九	四	一七	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三一
中島郡	一	一五〇	一九	五六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	八〇
海部郡	一	一八	二六	八五	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇七
知多郡	一	二七三	一六	九五	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一四三
碧海郡	九	二六	五	三七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二八六
幡豆郡	一	三七	一	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九五
額田郡	一	三二	三	二七	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四九
西加茂郡	一	一〇	一	三八	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七六
東加茂郡	一	一三	二	一一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一六
北設楽郡	一	一八	二	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一七
南設楽郡	一	七五	三	一一五	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二二四
寶飯郡	一	四二	二	一七一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三二四
温美郡	一	四七	三	一八一	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三四六
八名郡	一	三〇	七	六七	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇八
計	五五八	三六七一	五〇三	二〇四五	二五	一〇八	二七	一一一	一三	八〇	一	一	一	一	一	三、四六八

備考 赤痢欄ノ左ハ疑似赤痢ヲ示ス

二、傳染病患者ノ早期發見ニ努メ早期診斷其他必要アルトキハ細菌検査ノ請求ニ應シ以テ便宜ノ方法ヲ講シタリ

三、傳染病發生ノ場合ハ系統調査ヲ嚴ニシ周圍住民ニ對シテハ成ルヘク豫防注射ヲ行ヒ且ツ關係アル者ニ對シテハ糞便検査ヲ實施セリ

四、腸チフス豫防ニ付テハ縣下各町村ノ需メニ應シ無料注射液ヲ交付シ豫防注射ノ實施ヲ督勵セリ

前年 本年 腸チフス患者月別發生比較表

月別	患者		死者		患者對死者百分比	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
一月	七六	七三	一一	一五	一五、七九	二〇、五五
二月	一一〇	七五	二六	一三	二一、六七	一七、三三
三月	一二三	六七	三五	一九	二八、四六	二八、三六
四月	九一	六四	一八	一三	一九、七八	二〇、三一
五月	一〇九	二六一	二二	三四	二一、一〇	一三、〇三
六月	一一七	二九五	三三	五〇	二九、〇六	一六、九五
七月	一五一	三四九	三七	五五	二四、五〇	一五、七六
八月	二四七	三五九	五一	五五	二〇、六五	一五、三二
九月	二二四	二九三	四四	六七	一九、六四	二二、八七
十月	二〇六	一五七	五二	二四	二九、六一	一五、二九
十一月	一、四六四	一、九九三	三三二	三四五	二二、六八	一七、三一
計						

接客業者細菌検査成績表

検査總數	病原菌ヲ認メタル數		備考
	腸チフス	バラチフス	
一五、八一三	四	四	

胆汁培養基検査成績表

胆汁培養基交付數	同検査數	検査成績		陰性數
		腸チフス	バラチフス	
四八四	二二一	九七	三	一一一

腸チフス豫防注射施行人員 十八萬二千六十五名(自昭和三年一月至同十月十五日)

- 外航船舶ヲ直接繫留スル名古屋港沿岸及之ニ隣接スル準沿岸地帯ニ於ケル倉庫業者並ニ外航船舶ト直接航通スル解船業者ニ對シ防鼠並ニ除鼠設備ヲ行ハシメ別ニ捕鼠班ヲ編成シ鼠族ノ驅除及捕鼠ヲ勵行セリ
- コレヲ豫防ノ爲メ名古屋港沿岸海上生活者ニ對シ豫防注射ヲ實施セリ
- 名古屋市及縣下各町村長及警察署長ト協力臨時種痘ヲ勵行シ以テ痘瘡ノ豫防ニ努メタリ
- 狂犬病豫防週間ヲ實施シ飼犬ノ届出整理繫留強制豫防接種ノ徹底ヲ計リ野犬ノ掃蕩ヲ爲シ以テ斯病ノ撲滅ニ努メタリ
- 尙大禮還幸御沿道關係警察ニ對シテハ特ニ飼犬ノ繫留取締ヲ嚴ニシ苟クモ當日飼犬等ノ放浪スルカ如キ事ナキヲ期セリ

狂犬病豫防週間實施成績表

自十月一日至十月七日

捕獲數	戸口の的		畜犬の調査數	
	新届數	既届數	新届數	既届數
四五〇	六〇三	一九、五三六	二〇、一三九	

警察署自發的實施成績表

新聞掲載	防疫		宣傳		豫防注射液
	ビラ	看板	ポスター	講演	
二二	四八、二〇〇	九〇	一、三二五	二二二	一五七

昭和三年自一月至九月狂犬病ニ關スル調査

狂犬病	合計	狂犬病咬傷人員					狂水病	咬傷者	豫防注射人員	捕獲頭數	畜犬數	豫防注射數
		人	牛	犬	馬	猫						
三	三	五	一	一	一	一	五二四	五二六	五	二、八一七	二〇、八二二	二七、八五三

第十三 救護ニ關スル件

行還幸啓當日一般拜觀者傷病救護ノ爲赤十字社愛知支部及名古屋市當局ニ協商シ函館御沿道二十二ヶ所ノ救護所ヲ設置シ救護ニ努メタリ

縣設置救護所

月日	救護班數	取扱件數	救護人員	男	女
十一月六日	一五	三六	九六	二五	一一
十一月七日	一五	一六	九四	一一	五
十一月二十六日	一五	三〇	九六	二四	六
十一月二十七日	一五	三	九四	一	二
計	八五	八五	六二	六一	二四

縣以外ノ救護所

月日	救護班數	取扱件數	救護人員	男	女
十一月六日	七	二二	一六	一五	七
十一月七日	七	六	一六	四	二
十一月二十六日	七	一七	一六	一四	三
十一月二十七日	七	三	一六	二	一
計	二八	四八	六四	三五	一三

海港防疫施設(ペスト關係事項)

第一 倉庫防鼠設備

(イ)倉庫防鼠設備施行ノ範圍ヲ左ノ如クスルコト

一 沿岸倉庫

外航船繋船岸壁ニ直接關係アル地域ニアルモノニシテ別表第一號ノ通りトス

二 準沿岸倉庫

前項以外ノ地域ニアリテ外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫ニシテ別表第二號ノ如シ

三 以上ノ沿岸及準沿岸倉庫ニシテ其ノ收藏物穀類穀粉類豆粕有機性肥料其他鼠ノ食料トナリ得ル物件並綿花類ヲ收納スルモノハ防鼠設備ヲナスモノトス

但シ上記ノ物件以外ノモノヲ收納スル倉庫ト雖モ必要ト認ムルモノニアリテハ防鼠設備ヲナサシムルコトアルヘシ

四 上屋倉庫ニシテ全體ノ構造狀況等ヲ考慮シテ普通ノ防鼠設備ヲナシ得テ相當ノ效果ヲ擧ケ得ル見込アルモノハ倉庫ニ準シ之レヲ取扱フコト

(ロ)沿岸倉庫ニ對シ大概左記ニヨリ設備スルモノトス

一 戸扉窓土葺廻リ其他破損等ニヨリ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スルコト

二 内部ノ地盤ヲ非防鼠材料ナルトキハ「コンクリート」漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルトキハ板張りナレハ腐朽部其他鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一尺前後ニ小石砂利ノ

類ヲ敷クカ止ヲ得サレハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

三 外壁カ非防鼠材料ナルトキハ地上凡ソ三尺地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ或ハ亜鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト但シ内部ノ地盤カ「コンクリート」「アスファルト」「煉瓦等」ニテ鼠ノ潜入不可能ナルモノハ地上部ノ亜鉛板張りノミニテ可ナリ

四 外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニ於テ鼠ノ潜入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返ヲ設備セシムルコト

五 鼠返シハ成ルヘク兩柱間ニ嵌挿入スル式トシ外ニ對シテハ六十度以後ノ角度ヲ保チ高サハ一尺五寸以上トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスルコト衝立式ハ裝置ノ際不注意ノ結果往々兩側ニ空隙ヲ造リ易キ等ノコトアル故成ルヘク避クルヲ要ス

六 鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置クコト

七 夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈火ヲ以テ其ノ入口ヲ照射スルコト

八 準沿岸倉庫ニ對シテハ前記沿岸倉庫ニ準シ出來得ル丈ケ之ヲ勵行セシムルモ止ムヲ得サルモノニ對シテハ一號トシテ特